

1 プログラム

● エリア居住参加者数：18名

(1) 市の現状・(仮称)地域委員会構想について
(市民自治推進担当部長)

(2) 「まちづくりシミュレーションゲーム」

① ゲーム体験

2030年に向けた予算編成体験

② 振り返り・発表

ゲームで感じたこと等

(3) 今後の予定について



体育館で感染対策をして実践

2 ゲーム体験の様子

会場は寒くとも
熱い意見交換

● 各グループがそれぞれ仮想のまち「たまみらい市」になり、参加者はその市の部長（総務部長、子ども教育部長、健幸部長、くらし経済部長、都市づくり部長）の役割を体験します。

- ・社会保障費の増加に対応するため、既存事業を廃止するか借金するか
- ・新規事業を実施するには、既存事業を廃止するか借金するか
- ・廃止すると言っても、、、不利益を被る市民にどう対応するか
- ・議会に説明?? 時間が足りない!

<参加者の声>

- ・ものごとを決めるのは難しい。
- ・縦割りにならず部門を越えた話し合い、連携が重要。
- ・投資的施策は必要だが、成否の判断が難しい。
- ・目指す姿の共有がなされていたら



3 振り返り・発表

● ゲーム体験を通して

感じたこと・気づいたこと・学んだこと・大事にしたいこと等を
個人ワーク3分→グループ内共有5分→全体発表（各グループ1分）
で参加者全体に共有しました。

● ゲームの面白さ・難しさをはじめ、多摩市や行政への気づき、将来のまちづくりについて対話の大切さやビジョンを持つことの重要性などが発表されました。

<発表の様子>



各グループで気づいたこと・感じたことを共有し、総務部長役の参加者が全体に発表しました

4 参加された方の感想・今後の流れ

【感想】地域の未来を考えることは本当に楽しい。

いろいろな方の意見をきくことで、視野や意識が広がり、楽しかった。
普段、接点のない地域の方との“対話”は、学びと気づきが多かった。
市の課題を自分事化することができたのが大変有意義。

地域課題の解決のための具体的なアクションが大切だと痛感。

自分に今できること考え行動します。

このゲームでの議論が市政に生かされるようにするとさらに良いと思います。

寒すぎて体にこたえました。

満足度100%
継続参加意向87%

【今後の流れ】

● わがまち学習講座（12/12、1/17）

● 第3回エリアミーティング（2/6）

実際に地域カルテづくりを通して、地域のことを深掘します。

【お問合せ】

多摩市企画政策部企画課 TEL 042-338-6813（直通）

市HP QRコード→

公式ホームページ <http://www.city.tama.lg.jp/0000011459.html>

